

# 不動産IDを活用した官民データ連携促進モデル事業

不動産IDとドローン空撮画像による罹災証明交付迅速化モデル事業

2023年5月30日

富士フイルムシステムサービス株式会社

デジタル戦略推進部 部長 竹中 稔

**FUJIFILM**  
Value from Innovation



# 富士フイルムシステムサービスと豊橋市のご紹介



## 富士フイルムシステムサービスのご紹介

- 1972年から自治体様の業務改善をサポートしDX化を推進
- 戸籍総合システム～デジタル窓口ソリューションまで幅広いサービスを提供
- 2021年に災害発生時の**罹災証明迅速化ソリューション**を提供開始



## 豊橋市様のご紹介

- 先端技術を活用し社会課題解決に取り組んでいる
- 災害時における被災情報の速やかな収集を目的に、2017年にドローン飛行隊『RED GOBLINS』発足
  - 迅速な住家被災認定調査と罹災証明交付へ繋げる仕組みを目指している
  - 富士フイルムシステムサービスと共同研究協定を締結



# 不動産IDモデル事業への期待

## 住家被害認定調査の効率化

ドローンによる家屋被害状況把握に、居住実態、建物用途、住居構造を加えて最適な住家被害認定調査計画を作成したい。

そのために、不動産IDでドローン撮影画像、住民基本台帳、家屋課税台帳を統合したい。

ドローン空撮画像



1234567890125-G0224

家屋課税台帳

不動産ID	所有者	建物名	建物構造	建物種別
1234567890123-0000	富士 太郎		木造	住家
1234567890124-0000	富士 次郎		木造	非住家
1234567890125-G0224	富士 三郎	富士荘	RC造	住家

住民基本台帳

世帯主	住居表示	不動産ID
富士 太郎	東京都富士区〇〇1-19-1	1234567890123-0000
富士 次郎	東京都富士区〇〇1-19-4	1234567890124-0000
富士 三郎	東京都富士区〇〇1-19-5	1234567890125-G024

## 発災初動時の被害状況把握（応用）

不動産IDで紐づけられた建物属性や住民構成と被災後の状況を、PLATEAUで3次元に可視化し、速やかな計画策定につなげたい。

## 震災復興都市計画の策定（応用）

都市基盤が脆弱な市街地が大規模に被災した場合に、緊急・円滑に市街地を復興するため、速やかに家屋の被災状況を把握し、地域住民の合意形成を図り、計画的な市街地の整備事業を支援したい。

一部損壊家屋が多いエリア 全壊家屋が多いエリア



半壊家屋が多いエリア

倒壊家屋棟数  
倒壊家屋の種別  
倒壊家屋の築年数  
倒壊家屋の年齢分布  
倒壊家屋の構成員

最適な復興計画の判断材料に活用



# 住家被害認定調査業務における効果

## 【現行運用】

住民



申請書

住民基本台帳

住所

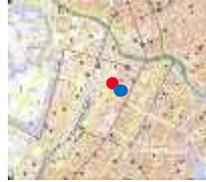
住所と建物が不整合

住所と地番が不一致

地番

家屋課税台帳

地番と建物が紐づかない



調査対象家屋の特定が困難

職員



当社ソリューションの活用により住家被害認定調査の効率化につながっているが、人が介在している業務も多い

## 【不動産ID整備後】

住民



申請書

住民基本台帳

家屋課税台帳

職員



①不動産IDをキーに被災エリア内の建物⇔住民基本台帳⇔家屋課税台帳が紐づけられるため調査数の大まかな把握が可能

②罹災証明書未申請の被災者に対して個別に市町村から通知が可能

効率的な調査計画策定支援

迅速な罹災証明書発行

住民サービスの向上

ドローン空撮画像

**FUJIFILM**  
Value from Innovation